千里山 コミセンだより 76号

千里山この人
「日本ウィスキー、世界一への道」

１０月　３日（日）

千里山に縁のある方をお招きし、講演していただく当講座。

今回は国産ウィスキー黎明期から製造に携わられてきた嶋谷幸雄さんに、今日までのウィスキーの歩みをお話していただきました。

文学を引用してお酒に関するエピソードをユーモアを交えてご披露くださった時には、会場から笑い声が起こる場面も。

白州を作られた時の苦労話、９０年に及ぶ試行錯誤の末に、世界でも高評価を得るまでの道程や、ウィスキーの楽しみ方の紹介など、興味深い講義となりました。

講師：嶋谷 幸雄さん(千里山西在住)
元サントリー㈱取締役 山崎・白州蒸留所工場長

１９３２年　大阪生まれ
　　大阪大学大学院工学研究科修了（発酵工学）
１９５６年　寿屋（現サントリー）入社
　　山崎研究所所長、白州蒸留所初代工場長、
　　山崎蒸留所工場長、サントリー取締役など歴任
２００５～２０１２年
　　洋酒技術研究会会長

当時の写真などを織り交ぜた資料をご用意くださいました。

ウィスキーボトルやグラスも展示されました。

白州ロットナンバー 0001 の貴重な樽

ほっと一息

千里山と田園調布

10年前まで営業の仕事でよく通っていた、東京の東急田園調布駅を中心にアンティーク駅舎（保存）から住宅地に広がる街並みが、千里山の雰囲気にすごく似通っていると思います。

駅の西側は円形の花壇と噴水広場から放射線状の道路もなだらかな坂道に植栽も多く静かな中、戸建てのお屋敷が多く見られます。大正年間にかの有名な渋沢栄一翁が全ての役職を退いたのち、自身で奔走し賛同者を得て理想的な住宅街作りを仕上げられたと記録されています。田園調布と見比べるとかなり小ぶりな千里山も、大正９年大阪住宅経営㈱の山岡順太郎氏（後に関西大学学長）らによって、モダンな洋風建築が特徴的な田園都市千里山として計画されたと記述されています。

ほぼ同時期のスタートにも何かご縁を感じるのは私だけでしょうか？

千里山東（延）

阪急千里山駅前の第一噴水。
季節ごとに美しい景観を楽しませてくれる憩いの場。

貸出備品のご案内

電子ピアノ、ポータブルマイク、ピンマイク、書画カメラ
プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、ＣＤ、ＤＶＤ
ＡＣアダプター、ＨＤＭＩコード、延長コード、マグネット
ＵＳＢコード（mac 用・iphone 用）花瓶、鏡、譜面台
赤色レーザーポインター・・・等

コミュニティセンターではいろいろな備品をご用意しております。
受付又はお電話でお申し込みの際スタッフにご確認下さい。
（なお、数に限りがございます。）

＜電子ピアノ＞

＜多目的ホール・音響＞

＜書画カメラ＞

使用料金表

お部屋	定員	午前	午後	夜間
		9時～正午	1時～5時	6時～10時
会議室 (1, 2, 3)	各 18人	700円	900円	900円
料理実習室	12人	1,000円	1,300円	1,300円
和室	28人	900円	1,200円	1,200円
創作室	18人	900円	1,200円	1,200円
多目的ホール	180人	3,500円	4,700円	4,700円

・コロナ禍で定員と閉館時間が変更になる場合があります。
　詳細はお問い合わせください。
・お部屋のご予約はお電話でも受け付けています。

編集後記～コミュちゃんのつぶやき～

コミセンだよりの原稿はイラストレーターというソフトで作っています。デザインの素養はなく、パソコンも苦手な私。今まではそれ以外の仕事が専門。ところがとある事情で、今イラストレーターの特訓中。いつになったらデビュー出来るのやら…　（Ｓ・Ｙ）

千里山コミセンだよりの写真は、ご本人、団体の許可をいただいて掲載しています。

◎11月の休館日◎　11月24日（水）

吹田市立千里山コミュニティセンター広報紙「千里山コミセンだより」第76号　令和３年11月1日発行
編集・発行　千里山コミュニティ協議会　〒565-0844　吹田市千里山霧が丘22-1　BiVi千里山３階
TEL　06-6310-7002　FAX　06-6310-7336　HP　http://sen-com.org